

ともに狛江 明るく元気な狛江

多くの市民が、狛江市への愛着と誇りをもって生活しています。それだけに今回の市長のセクハラ問題は、たいへん残念です。そうしたなか、私は今回の問題を一緒に追及してきた女性市議のみなさん、市民のみなさんからおされ、出馬を決意しました。

私は、市政への市民の信頼を取り戻します。あらゆるハラスメントがない狛江をつくりたい。住民のいのちと暮らしを守る仕事を、市政の中心にすえます。前市政で弱まった市民参加・協働の流れを取り戻し、「市民が主人公」の狛江を発展させます。いろいろな考え方の違いはあっても、話し合い、力を合わせて進んでゆきましょう。



市長予定候補(無所属)・市議会議員

田中 とも子

セクハラのない狛江へ 田中さんと一緒にがんばります



市議会議員
(日本共産党)
西村あつ子



市議会議員
(社会民主党)
市原広子



市議会議員
(生活者ネット)
山本あき子



市議会議員
(日本共産党)
宮坂良子

市長予定候補(無所属)・市議会議員

田中とも子さんはこんな人

都議4年 都政で、子どもの医療費無料化広げる

1997年、都議になった田中さん。力を入れたのが、子どもの医療費無料化です。3人の子育てをしてきた体験から、当時、制度を見直す動きを見せた東京都に「生活か、子どもの病院かと選択する親の気持ちが変わりますか」と追及。都民の運動とあわせて就学前まで無料化を広げました。

市議11年 市政で、シルバー相談室開設など介護改善へ

その後、狛江市議となった田中さんは、介護の改善に全力をあげました。「孤独死、孤立死ゼロ」めざし高齢者の見守りの拠点となるシルバー相談室の開設を実現。全国の先進市を視察して認知症の早期発見、早期治療のための提案も行い、実現しました。学校や保育園の耐震化も進めました。



田中とも子プロフィール

1957年山形県生まれ。國學院大學文学部卒業。大國魂神社巫女、防災関係企業勤務、97年から都議会議員(1期)。2007年から日本共産党狛江市議(3期途中)。この間市議会副議長、社会常任委員長、決算特別委員会副委員長、多摩川衛生組合議員、都市計画審議会委員、党市議団幹事長・団長など歴任。保育園父母会長、中学校PTA役員。趣味は映画鑑賞、生け花(師範)。多摩川住宅在住、家族は夫と三女。



生まれは雪国・山形の農家 明るくて粘り強い人

その田中さんが生まれたのは、山形県庄内地方の農家。雪が2メートルも積もる豪雪地帯です。両親は早朝から夕暮れまで農作業で働き、父は冬になると出稼ぎに。「働いても働いても楽にならない」農家の暮らし…社会の矛盾を感じながら育ちました。

大國魂神社の巫女をしながら大学へ

高校卒業後上京し、府中の大國魂神社の巫女(みこ)さんとして働きながら、国学院大学夜間部に通いました。その後、防災関係の民間会社で働きながら、夫とともに三人の娘を育てました。



人権無視のセクハラ市長のもとで歪み始めた市政の流れ

田中とも子は変えます

市政に信頼を取り戻す

市政への信頼を踏みにじった前市長のセクハラ問題は絶対に許せません。「ウミを出し切る」ため、弁護士など専門家による第三者委員会を立ち上げ、この問題の全経過と教訓を明らかにし、しっかりとした再発防止策を市民参加で確立します。

「ハラスメントのないまちづくり」「差別のないまちづくり」を最優先に、市民とともにとりくみ、すべての市民・職員の人権が守られる市政をつくりまします。

社会教育施設として中央図書館・公民館を抜本拡充します

中央図書館・公民館の充実が長年の市民の願いです。高橋前市長が市の新図書館計画を代替措置もなく中止するなか、市民センターの増改築で図書館・公民館の充実を求める署名が約4千名寄せられ、田中さんも、市議会できり返し充実を求めてきました。

田中さんは「市民センターを考える市民の会」の提案内容を生かし、社会教育施設としての中央図書館・公民館の抜本拡充にとりくみます。

だれもが安心して暮らせるまちに

貧困と格差が広がる中、前市政では、子どもの貧困対策の遅れや国保税などの負担増、介護サービスの後退など、市民生活を守る施策に遅れがあり、人権と生存権を脅かす強権的な税金の徴収は大問題となりました。

田中さんは、子どもの権利条例を制定し保育園や学童クラブの待機児解消、ひとり親家庭への支援をすすめ、安心できる地域包括ケアの実現やシルバー相談室の増設をすすめます。強権的な徴税はやめ、親切で丁寧、人権に配慮した生活再建型の納税相談など、命と暮らしを守るために全力をつくします。

和泉多摩川緑地は住民合意で



都水道局用地

高橋前市政は和泉多摩川緑地の都立公園化で、当初、2千人余が立ち退きとなる大型計画を打ち上げました。住民の反対で縮小されたものの、住民の合意を得ないまま都との協議に入ってしまった。和泉多摩川駅近くのぼかぼか広場の活用方法でも、強引な手法が住民の反発を招き裁判になっています。

田中さんは、住民の合意と納得を大切にすまちづくり、市民が主人公のまちづくりに転換します。

田中とも子さんに期待します

実行力は試され済み

元市長 矢野ゆたか



田中さんには、矢野市政を支える与党の幹事長として大きな力を発揮していただきました。高橋前市政のもとで後退してしまった市民参加と協働の流れをとりもどし、市民が主人公の市政を力強く発展させていただけますよう期待します。

みんなの人権を守る人

寺尾安子さん(西和泉)



みんなの人権が守られ、すべての市民活動が自由にできる町づくりの先頭に立つ人です。

市民と共にある市政の実現を

前市長候補 平井里美さん



「監視」ではなく「信頼」を。「数値」ではなく「小さな声」を。市民と共にある市政の実現を期待します。